

「アンケート概要」（令和7年6月4日～令和7年6月17日実施）

外国人患者の受入れに係る課題等を把握し、今後の参考とするため、大阪府外国人患者受入れ拠点医療機関及び地域拠点医療機関の計44医療機関を対象にアンケート調査を実施した。（回答率100％）

分類	大阪府の外国人医療関係施策についてのご意見（抜粋）
連携ネットワーク に関すること	・紹介先の医療機関の担当者連絡先が分かれば紹介がしやすい。 ・担当の医師・歯科医師及び通訳担当者の名前と対応可能な言語リストがあると調整がしやすい。 ・府内の外国人患者受入れ可能な病院と診療所が連絡・相談しやすいネットワークシステムが必要。 ・各医療機関担当者の持つノウハウや抱える課題等を担当者間でシェアし、対応ノウハウとして定型化し共有できるようになれば、連携が円滑に進むと思う。 ・大阪府のホームページに掲載されている「大阪府外国人受入れ拠点医療機関」の中には、紹介状がないと受診できない3次救急の医療機関も含まれており、紹介状なしで来院された場合、近隣のクリニック・病院を案内せざるを得ない状況であり、混乱を防ぐためにも、対象の医療機関には「紹介状が必要」である旨の注記を加えてほしい。 ・大阪府（厚生労働省）から外国人患者対応の医療機関リストが出されているが、地域連携の現場で使用する際、エクセル表のためわかりにくいと、一見してすぐにわかるリストがあると使いやすい。 ・今後は、拠点病院や地域拠点病院だけでなく、地域全体で外国人の診療体制を築いていく必要があるため、そのための施策を医療機関と府が一緒になって検討していく場があればよいと思う。
多言語遠隔 通訳サービス に関すること	・大阪府の在留ネパール人は急増しており、ネパール語を追加してほしい。 ・大阪府24時間多言語遠隔医療通訳サービスは有効に活用させて頂いております。 ・無料かつ24時間対応いただける電話医療通訳サービスは大変助かっています。
未収金対応 に関すること	・外国人の未収対策や受診時に工夫することがあれば情報共有してほしい。 ・旅行保険加入勧奨を継続してほしい。
その他	・大阪府主催で外国人患者受入れのための勉強会など開催してほしい。 ・訪日外国人に向けて日本の医療システムの情報発信と海外旅行保険加入の推奨を強化してほしい。 ・渡航患者（一部の在留外国人含め）に正しい救急車の要請方法について情報発信してほしい。